



第3回十和田 LCO 講演会

「医療機関におけるコスト削減の重要性について」

業務課施設管理係 竹内 雅紀



「診療報酬の基礎知識と今後の病院経営」

株式会社日本医療企画 ヘルスケア事業本部本部長代理
クリニックばんふう編集長

清水大介 氏



「医療機関におけるコスト削減の重要性について
～継続した医療の提供に向けて～」

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター
事務部 業務班長

齋藤知二 氏

診療報酬とコスト意識という、経営の両輪を担う2点についてそれぞれ講師をお招きし、ご講演いただきました。本稿はコスト部分を中心とした記事になっております。講師には青森県八戸市出身、現在はNHO久里浜医療センターで業務班長として辣腕を振るっておられる齋藤知二先生をお招きしました。病院と卸・メーカーとの繋がりについての基礎知識、そして院内職員全体が持つべきコスト意識の在りかた、その根幹をご教授いただきました。本講演は事業管理者をはじめ、院内外問わず200人を超える参加者が集まりました。これはコスト意識の高まりを表すものであり、本講演が今後の病院経営の一助になったのであれば幸いです。



会場のようす



活発なやりとりをする質問者と講師



松野管理者によるまとめ



「接遇研修会」開催

業務課庶務係 佐々木政人

～病院職員として自らの「働き方」を今一度見つめ直してみましょう～

株式会社インソース 藤田美代子 氏



1月30日（水）に、教育研修・接遇・広報委員会の主催で「接遇研修会」を開催しました。講師に(株)インソースの藤田美代子氏をお呼びして、接遇を向上するためのお話をいただきました。「患者満足は期待を裏切らず、想定よりも少しでも良いサービスを提供」を念頭に、身だしなみ・挨拶・話し方・聞き方・表情や所作に気を付け、相手や場面によって工夫や応用をし、今以上に満足してもらうにはどうすればいいかを考えてほしい、ということをお話いただき、接遇について新たなことを知るとともに、再確認もできた研修会となりました。



築場看護局長によるあいさつ



質問する参加者





緊急被ばく医療に関する活動について

業務課 課長補佐 横岡 聖一

当院は、青森県の原子力災害医療協力機関であり、さらには日本原燃株式会社と「緊急被ばく医療に関わる協定」を締結していることから、被ばく傷病者の初期診療を行う役割を担っています。このため、平時から関係機関との連携を構築するとともに、職員の放射性物質に対する理解と傷病者への対応能力の向上を図る必要があります。

今年度は、当院を会場として下記のとおり活動を行いましたので報告します。



訓練：傷病者受入れ申し送り

日時	内容	協力機関
11月22日	緊急被ばく医療基礎講座	日本原燃（株）
11月29日	緊急被ばく医療合同訓練	北部上北消防本部、県医療薬務課、日本原燃（株）
12月8日	緊急被ばく医療に関わる実務セミナー	（公財）原子力安全研究協会、日本原燃（株）



訓練：創傷部位の除染



訓練：防護衣の脱衣



実務セミナー：処置エリア設置



現場に直撃！ ＊ドカ雪編＊



2月初旬は厳しい寒さが続きましたね。病院のシンボル像「さわらび」や、「かえりみち」の女の子も、雪帽子をかぶり寒さにじっと耐えていました。そんな中、躍動するのが業務課施設管理系の除雪隊です。夜に積雪があった日は早朝から除雪車を走らせ、歩道など細かい所は人力で雪かきします。冬はお車のご利用が、増えることもあり、入口でお待たせすることもあるかもしれませんが、皆様に安全でスムーズにご来院いただけるよう、除雪隊は春までがんばります！



外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>